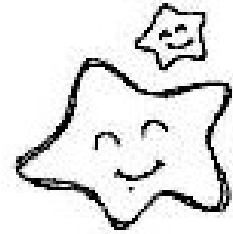


QSK

にぬふあぶし

No.307 ^ね子の方向の星(北極星)



第78回精神保健シンポジウム・那覇を企画して

高橋年男(沖縄県精神保健福祉会連合会・理事)

私宅監置を描いたドキュメント映画「夜明け前のうた～消された沖縄の障害者」が全国上映中だった昨年(2021年)10月、日本精神衛生会の藤井克徳理事から、同映画の原義和監督のところに、シンポジウムの沖縄開催(共催)について提案・打診が飛び込んできました。

さっそく、映画制作にかかわったメンバーで相談会がもたれ、米軍政下におかれた数多の犠牲から脱するために、平和と人権を希求した沖縄の日本復帰から50年、その節目の年に、改めて私宅監置と、「国策による犠牲を問う」ことを中心テーマにしようと、方向性がまとまりました。

昨年沖縄では、精神科病院で新型コロナ感染のクラスターが相次ぎ、問題の所在を明らかにする取り組みを行っている「おきなわ障害者人権センター」も共催団体になりました。

シンポジウムでは、犠牲にされた当事者の声を聴かせてほしいと、意見が一致しました。40年もの長期にわたる社会的入院を、人生被害として国を訴えた伊藤時男さんに登壇してもらうことになりました。

そして、精神医療の闇を明らかにするためにも、ハンセン病、旧優生保護法による国策の問題点について、準備会はミニ学習会を積み重ねていきました。



(次のページへ)

(前のページから)

自立生活センター・イルカの長位鈴子さんは、小さい時から受けた差別体験とシンポジウムへの提言、同じくインクルーシブの宮城秀明さんは、施設から地域に出たことで得た自由と人権について話してくれました。

折しも、今年2月に唐突に戦場に突き落とされたウクライナで、真っ先に障害者が取り残され、困難に直面しているのではないかと、戦争の根底には優生思想があることを心に刻み、とにかく生き延びてほしいと、世界中に「連帯と祈り」を発信した藤井克徳さんの詩に込めた想いを共有しました。準備会は回を重ねるごとに、参加メンバーが増えていきました。

2001年ハンセン病国賠訴訟において原告として国の過ちを正した金城幸子さんと平良仁雄さんのお二人にも、国策による人生被害をなくすため、人権を訴える社会活動に関わるようになった経緯などを、シンポジウムで発表してもらうことになりました。戦後沖縄がおかれた過酷な米軍統治下で、ハンセン病者や障害者がどのような立場におかれたかを、ジャーナリストの山城紀子さんに報告をしていただき、現在のコロナ禍で、全国のハンセン病療養所が抱える問題を研究する沢知恵さんにも登壇していただくことになりました。

このようにして、7月18日のプログラムが出来上がりました。



午前中、映画「夜明け前のうた」上映。午後は、シンポジウム開会式主催者挨拶(日本精神衛生会理事長・小島卓也、沖縄実行委員会・宮城秀明)。第1部「時男さんの国賠訴訟に連帯する」(伊藤時男、藤井克徳、司会・小浜日登美)。第2部「ハンセン病の国賠訴訟に学ぶ」(金城幸子、平良仁雄、山城紀子、沢知恵、司会・高橋年男)。第3部は、パネリスト全員が登壇して、クロストークと会場との意見交換。

サイドイベントとして、伊藤時男さんの絵画と詩の展示会(7月9日～17日)を開催し、17日には、主催者の中心メンバーなど25名で、沖縄北部の私宅監置小屋とハンセン病療養所愛楽園を訪問しました。

今回の企画全体の参加者は、およそ150名でした。

2022年8月10日 記す

2022年度障害者家族のピアサポート推進事業



家族による家族学習会 (あかちち会) ～全5回連続講座の参加者を募集します～

※ 一人で抱えて悩んでいませんか ※

参加できる方：統合失調症など精神疾患の方を家族に持つ人で5回通して参加可能な方

内容：テキストを使用し、話し合いなどを通して統合失調症について学びます

※統合失調症を知りましょう ※ご家族自身が元気を保つために その他

担当者：統合失調症の方を家族に持つ「あかちち会」の会員3名が担当します

	日程	時間	会場
第1回	10月1日(土)	13:30～16:30	てるしのワークセンター (南風原町宮平)
第2回	11月5日(土)		
第3回	12月3日(土)		
第4回	1月14日(土)		
第5回	2月4日(土)		

※ 募集人員7名程度 希望者多数の場合は参加できないことがあります

※ この家族学習会は、あかちち 会員の担当者以外に、数名のオブザーバーが同席することがあります。その際、個人情報の保護につきましては、十分に配慮した対応をいたしますので、ご安心ください

【お問い合わせ・申し込み】

沖縄県精神保健福祉会

担当：仲本(090-7479-7709)

受付締切：9月25日

後援：沖縄県保健医療部



写真は昨年開催時の模様です! →



『みんなねっと広島大会』のお知らせ

テーマ:愛と自立を語ろう

2022年10月13日(木)・14日(金)

@ JMS アステールプラザ(広島県広島市中区加古町4-17)

【おもなプログラム】(初日はハイブリッド配信あり・両日とも後日アーカイブ配信あり)

・基調講演 石井知行氏(広島県障害者自立支援協議会会長)

・特別講演Ⅰ「だれでも自分らしく暮らせる地域のために」

藤井千代氏(国立精神・神経医療センター精神保健研究所 部長)

・特別講演Ⅱ「原爆被爆体験」

【2日目・分科会】

- ① 家族による家族学習会の取り組み
- ② 家族相談支援のあり方
- ③ 障害年金・当事者の地域での生活
- ④ 高校教科書(保健体育)



みんなねっとホームページに詳細あり。お問い合わせ: 広家連(082-285-3837)

◎編集後記◎

黒澤明の『夢』に出てくる日本的な異界や、桃源郷のような風景を見ていると、もちろん覚えはないけれど、でもどこか子どもの頃にこれを体験していたような気もしてくる。子どもの頃にこういう体験をしなければ、とも思うようになる。社会にまだきつと残っているはずの異界を、あらためて大切にしたいと思いました。(増山)

編集: 公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会

会長 山田 圭吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX 098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行: 九州障害者定期刊行物協会

〒812-0068

福岡市東区社領 1 丁目 12 番 4 号

電話 092-753-9722 FAX 092-753-9723

定価: 10円(会費に含まれる)